

2022 年度 BCOJ ボード委員会活動報告

ビール酒造組合 国際技術委員会 議長 中村 勇一

2022 年度のビール酒造組合国際技術委員会（Brewery Convention of Japan、以下 BCOJ）ボード委員会の活動につきまして、以下のとおりにご報告いたします。

記

2022 年度の国際技術委員会は、下記のメンバーで活動した。

議長	中村 勇一		(アサヒビール(株))
ボード委員	石田 文人		(サッポロビール(株))
	永嶋 一史	(3 月まで)	(麒麟ホールディングス(株))
	片山 貴仁	(4 月から)	(麒麟ホールディングス(株))
	梅澤 祐輔	(2 月まで)	(サントリー(株))
	丸橋 太一	(3 月から)	(サントリー(株))
	樽岡 誠		(オリオンビール(株))
分析委員長	乾 隆子		(サントリー(株))
プログラム委員長	坂口 淳哉	(3 月まで)	(サッポロビール(株))
	朝田 圭	(4 月から)	(サッポロビール(株))
専務理事	岸野 博行		
審議役	善本 裕之	(9 月まで)	
	川野輪 隆		
	水谷 正憲		
	金井 秀樹	(9 月から)	
事務局長	岡田 啓介		(アサヒビール(株))

【活動内容】

2022 年も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けながらの活動となった。その中でも BCOJ 活動の目的の実現に向けて、国際技術委員会を 5 回、分析委員会を 7 回、プログラム委員会を 10 回開催した。また、8 月には 2019 年以来 3 年ぶりに海外学会への参画として Brewing Summit2022 に出席することができた。

<BCOJ 活動の目的>

1. ビール醸造及び関連産業に於ける原料、資材、生産物を評価するための分析法の統一
2. ビール製造技術者相互交流による科学的、技術的研究の促進
3. 同様の目的を持つ他の国外及び国内の組織との協働

1. 海外関連団体との技術交流

(1) EBC Congress への参画について

38th EBC Congress への委員派遣については、学会開催前の、4~5 月の欧州での新型コロナウイルス感染状況悪化を受け中止した。38th EBC Congress では“THE DECLARATION BETWEEN EBC AND BCOJ”の更新を予定していたが、現地参加中止を受け宣言の更新を 2023 年に延期し、EBC Symposium にて実施することとした。

(2) Brewing Summit 2022 への参画について

新型コロナウイルスの影響により、オンライン開催となった2020年のWorld Brewing Congress、2021年のASBC Annual Meetingsへの欠席を経て、Brewing Summit 2022には3年ぶりに現地参加となった。現地ではASBC Board Member とポストパンデミックの学会運営について議論を行った。



(3) BCOJ 年次大会の開催について

2022年11月10～11日に第31回BCOJ年次大会を開催した。新型コロナウイルスの影響を鑑み、発表者を中心として星陵会館でのリアル会場に、オンライン配信も組み合わせた、ハイブリッド開催というBCOJとしては初めての形式で実施した。加盟ビール各社、関係官庁、企業等から延べ299名が参加した年次大会での発表を通じて、魅力的な商品の開発や美味しさの実現、品質保証、に関する技術的知見の向上につながる、活発な技術発表と意見交換が行われた。



海外からはASBC議長のMs. Kimberly Bacigalupo、ASBC Asia Liaison OfficerのXing Yin博士を迎え、基調講演「Kombucha and Beer - Friends or Foes?」をいただいたほか、EBC議長

(Mr. Benet Fité Louis) からレターをいただいた。

また本年のBCOJ功績賞受賞者である、九州産業大学教授 金田 弘拳 博士の受賞式を執り行い、盾と花束の贈呈、金田様による記念講演が行われた。

更に、招待講演として東京大学教授 太田 博樹 様より「呑むヒトと進化」と題して講演をいただいた。

2. ボード委員会の開催

(1) 臨時第1回ボード委員会 (1月11日：オンライン開催)

【議題】ビ組主催の「アルコール関連 共同研究」について
ビール酒造組合での、飲酒(アルコール摂取)と健康に関する共同研究は以後、中止することを決定した。ただし、今後、ビール業界における課題[生活の質向上・食習慣と飲酒(アルコール摂取)の関係等]として挙げ、解決に向けて、目的・取り組み、成果、その効果で明確なストーリーが描ける際にはその内容を審議する。

(2) 第1回ボード委員会 (5月20日：キリンビール福岡工場)

【主な議題】①38th EBC Congressに関して、BCOJとしての現地に赴いての参加見送りを判断した。当学会での更新を予定していた”THE DECLARATION BETWEEN EBC AND BCOJ “については、2023年に更新を延期することとした。②BCOJ功績賞受賞者審議を行なった。③BCOJ年次大会開催を議論した。

(3) 第2回ボード委員会 (9月15日：ビール酒造組合)

【主な議題】2022年BCOJ年次大会の内容について詳細確認を行った。

(4) 第3回ボード委員会（11月10日：星陵会館）

【主な議題】①2022年の予算着地見込み、2023年予算案の検討を行った。②2023年BC0J年次大会の開催方式について議論を行った。

(5) 第4回ボード委員会（12月9日：ビール酒造組合）

【主な議題】①2022年活動振り返り、及び2023年活動計画の確認を行った。②2023年予算の審議を実施した。

以上（文責：BC0J事務局長 岡田 啓介）

2022 年 12 月 1 日

2022 年度 BCOJ 分析委員会活動報告

分析委員会委員長 乾 隆子

副委員長 室 公志

2022 年度の分析委員会は下記メンバーで活動した。2022 年 1 月 1 日より 12 月 31 日の活動期間を通じ、分析委員会を 7 回開催した。

委員長 : 乾 隆子 (サントリー(株))
副委員長 : 室 公志 (キリンホールディングス(株))
委員 : 白石 圭代 (キリンホールディングス(株))
表 雅之 (アサヒビール(株))
仲村 周 (オリオンビール(株))
神谷 隆史 (サッポロビール(株)) 7 月まで
藤田 悠 (サッポロビール(株))
秦 悠斗 (サントリー(株))

ビール酒造組合審議役 :

善本 裕之 (キリンホールディングス(株)) 9 月まで
川野輪 隆 (サッポロビール(株))
水谷 正憲 (アサヒビール(株))
金井 秀樹 (サントリー(株)) 9 月から

1. BCOJ 共同実験

2018 年に開始した「SPME-GC/MS 法を用いたビール中のホップ香気成分分析」結果について、2022 年 8 月の Brewing Summit 2022 にてポスター発表を実施した。

(幹事会社 : サッポロビール(株))

2. RTDへのアルコール分析のためのアルコライザー適用

国税庁所定以外のアルコール分測定法の登録を目指し、2019 年から品目別の出荷量で大部分を占めるリキュールとスピリッツに対するアルコライザー法適用を検討してきた。2021 年 10 月、国税庁 HP に測定方法番号 12「BCOJ ビール分析法 RTD-1 及び RTD-2 アルコライザー法によるアルコール分の測定」として掲載され、この検討および結果について 2022 年 8 月に Brewing Summit2022 にてポスター発表を実施した。

本法で許可されていない、さのうや濁りのあるサンプルに、ろ紙ろ過や遠心分離操作を実施しても問題ないか、検討を開始した。

(幹事会社：キリンホールディングス(株))

3. BCOJ ビール分析法の改訂について

BCOJ ビール分析法は 2013 年発行の CD-ROM 版が最新で、それ以降更新されていない状況にあった。BCOJ 独自分析法 8 法を追加、ASBC 分析法、EBC 分析法の改訂等に併せた改訂、追加を 75 法行うこととした。11 月までに BCOJ 独自分析法追加分 8 法、それ以外の改訂、追加分 13 法の読み合わせを一度は完了した。

4. 2022 年度 BCOJ 勉強会

以下内容で勉強会を開催した。事前に講師と勉強会の内容を相談し、基礎的な内容を踏まえつつ、共同実験テーマにも即した実務的内容とし、結果、大変有意義な勉強会となった。

日時：2022 年 10 月 14 日（金）15:30～17:00

方法：Microsoft Teams によるオンライン会議

出席者：ビ組審議役含め加盟各社から 77 名が参加

テーマ：食のパーソナライズ化サービス実現に向けた新規事業創出の道のり

講師：新規事業開発支援コンサルタント 関屋 英理子様

5. 国際協力活動

(1) EBC 分析委員会への参加

2022 年 5 月 28, 29 日、EBC 分析委員会が EBC Congress に先立って開催された。副委員長 1 名が参加し、BCOJ 活動報告を実施した。

2022 年 9 月 22 日、EBC 分析委員会がオンラインで開催され、委員長 1 名が参加した。

(2) ASBC Technical Committee への参加

2022 年 8 月 17 日、ASBC 分析委員会が Brewing Summit 2022 後に開催された。正副委員長、ビ組審議役 2 名の計 4 名が参加し、BCOJ 活動報告を実施した。

(3) EBC Collaborative Trial

DTNB 法による S02 分析の共同試験が行われ、BCOJ 加盟 4 社が参加することになった。

5. 情報公開活動

(1) 2022 年度 BCOJ 年次大会

星陵会館での 2022 年海外発表と併せて、ハイブリッド形式で開催され、Brewing Summit 2022 でポスター発表した 2 件を口頭発表に組み直して発表した。

以上（文責：室 公志）

2022年度BCOJプログラム委員会活動報告

プログラム委員会委員長 朝田 圭

1. メンバー

2022年度のプログラム委員会は、下記のメンバーで活動した。

委員長： 朝田 圭、坂口 淳哉（3月まで）（サッポロビール株式会社）

副委員長： 岡田理志（麒麟ホールディングス株式会社）

委員： 阿部央行（サントリー株式会社）

委員： 西村脩平、楠 慧三（9月まで）（アサヒクオリティアンドイノベーションズ株式会社）

ビール酒造組合審議役：善本 裕之（9月まで）、川野輪 隆、水谷 正憲、金井 秀樹

2. 活動目的

BCOJの活動目的である、「ビール製造技術者相互交流による科学的・技術的研究の促進」、「同様の目的を持つ他の国外及び国内の組織との協働」の役割を担う、BCOJ年次大会の企画運営を軸に活動を行った。

3. 活動概要

2022年度のプログラム委員会は計10回開催した（定例5回、臨時5回）。

2022年のBCOJ年次大会は、11月10日、11日の2日間で開催した。COVID-19の影響下にて、参加者の安全と対面での技術交流を両立する目的で初のハイブリッド開催とし、加盟ビール会社からを中心に延べ299名の参加があった。大会での主な発表は、EBC Congress及びBrewing Summit2022の再演11題（オーラル4題、ポスター7題）、ASBC議長による基調講演（Ms. Kimberly Bacigalupo）、招待講演（太田博樹教授、東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻ゲノム人類学研究室）であった。報告内容の質が高く、参加者からは多くの質疑があり、実りある年次大会となったと評価している。大会開催については多数の方から継続を支持されており、今後もより良い大会となるよう運営を行う。

4. プログラム委員会の開催実績

◇2022年1月21日 第1回定例プログラム委員会（@Microsoft Teams）

年次大会の開催方式に関する議論、招待講演候補者の検討

◇2022年3月29日 第2回定例プログラム委員会（@ビール酒造組合）

年次大会の開催方式に関する議論

◇2022年4月15日 第1回臨時プログラム委員会（@Microsoft Teams）

BCOJ年次大会のあるべき姿、BCOJ年次大会の目的に関する議論

◇2022年4月22日 第2回臨時プログラム委員会（@Microsoft Teams）

BCOJ年次大会のあるべき姿、BCOJ年次大会の目的に関する議論

- ◇2022年5月11日 第3回臨時プログラム委員会 (@Microsoft Teams)
BCOJ年次大会のあるべき姿、BCOJ年次大会の目的に関する議論
- ◇2022年6月30日 第3回定例プログラム委員会 (@麒麟ビール取手工場)
年次大会開催フォーマットの検討及びプログラムの検討
- ◇2022年8月13日 - 16日 Brewing Summit 2022 (@Providence)
ASBCメンバーとの関係構築、ASBC議長来日の詳細確認、BCOJ/ASBCの交流活性化の議論
- ◇2022年8月24日 第4回臨時プログラム委員会 (@Microsoft Teams)
年次大会開催の詳細検討
- ◇2022年10月6日 定例第4回定例BCOJプログラム委員会 (@星陵会館、TKP PREMIUM 京橋)
年次大会開催の詳細検討、新会場の視察、来年度の予算検討
- ◇2022年10月24日 第5回臨時プログラム委員会 (@Microsoft Teams)
年次大会開催の詳細検討
- ◇2022年11月10日、11日 BCOJ年次大会 (@星陵会館)
年次大会の当日運営
- ◇2022年11月29日 定例第5回定例BCOJプログラム委員会 (@アサヒビール茨城工場)
年次大会振り返り、2023年の活動方針及びスケジュールの決定

以上 (文責: 朝田 圭)